

業務運営・改善

—大学を支える組織づくり—

大学を支える人材を育むための宿泊研修

平成21年度に実施した役員と管理職教職員との宿泊研修を、平成22年度は参加対象者を准教授・講師、係長クラスの職員まで広げ、若い世代にも本学の課題について考える機会を提供することにより、教職員一丸となって積極的に課題に挑戦する土壌作りに努めることができました。

また、研修アンケートでの意見や提案を受けて、以下の取り組みを実施していきます。

教職協働／大学を支える人材を育むための研修を実施し、参加者が課題を認識し、各人の職務への意欲向上につなげる。

組織運営と教職員の意識／役員と教職員で情報を共有し、大学活性化に向けた意見等を大学の運営に生かす。

事務職員の能力向上／マネジメントコース及びスペシャリストコースのキャリア形成の道筋に沿った育成を行い、職制能力指標（職階別標準職務表）を踏まえた配置、昇格等を行う。

勤務環境／労働条件の改善については、役員会として、常に問題意識を持って取り組む。

高大連携の推進／高大連携として、膳所高校、虎姫高校及び立命館守山高校の学生に対し授業等を実施。将来、これを活かした基礎医学研究者の育成を考えていく。

研修医の確保／研修プログラムの評価と見直しを行い、魅力あるものとしていく。



事務組織におけるキャリアマップ等の策定

業務が多様化・複雑化する中で、職員が培ってきた高度な専門的知識や経験を評価・活用することにより、職員のモラールを高め、事務組織の活性化をねらいとしたものです。

係長から課長と昇進していく「マネジメントコース」と、専門職員、主幹等として高度な専門性を持って職務を遂行する「スペシャリストコース」を設けました。

また、合わせて課長補佐相当職の応募式登用制度を導入し、平成22年度には、この制度により4名の課長補佐を登用しました。

大学評価指標を設定して目標を達成

A. 学生の受け入れに関する目標		
目標指標	説明	平成22年度目標値
地域出身者の割合	・地域出身者の 志願者数および入学者数 平成21年度実績 ①志願者数 医学科:75名 看護学科:62名 ②入学者数 医学科:20名 看護科:29名	①志願者数 医学科:65名 看護学科:59名 ②入学者数 医学科:20名 看護科:25名 以上を目指す。
B. 教育方針・内容・方法および成果に関する目標		
目標指標	説明	平成22年度目標値
国家試験新卒者合格率	平成21年度実績 ①医師 99.0% ②看護師 100% ③保健師 94.5% ④助産師 99.7%	①医師 95%以上を目指す ②看護師 98%以上を目指す ③保健師 98%以上を目指す ④助産師 95%以上を目指す

- ・第2期中期目標・中期計画と関連した目標値として、「大学評価指標」40件を設定しました。
- ・目標達成に向けては、各理事の下、関連部署が中心となり取り組みました。
- ・指標の達成状況は、教職員及び学生が常時確認できるよう、学内ホームページに公開しています。
- ・本取組は、国立大学マネジメント研究会発行「大学マネジメント」4月号で紹介されました。
- ・今後は、部署毎や個人毎の目標設定にまでつなげていけるよう、さらなる発展を考えていきます。